

学校教育部における環境教育の取組状況について

1 はじめに

(1) 学習指導要領での環境教育の位置付け

環境教育の必要性は日本のみならず世界的に注目されており、学校教育の指導内容が示されている（現行の）学習指導要領には「環境に関する教育（現代的な諸問題に関する教科等横断的な教育内容）」として示されている。

(2) 「現代的な諸問題に関する教科等横断的な教育内容」の取扱いについて

特定の教科だけで指導するのではなく様々な教科の中（学校教育全体）で横断的に指導するよう示されている。

(3) 「環境に関する教育」を扱う教科等（**資料1**：学習指導要領総則 p 228-231）

小学校	理科、生活科、社会科、家庭科、体育科、道徳科、 総合的な学習の時間
中学校	理科、社会科、技術・家庭科、保健体育科、道徳科、 総合的な学習の時間

※各教科の教科書は学習指導要領の内容が網羅されているので、教科書の内容を指導していれば必然的に「環境に関する教育」が行われるようになっている。

※「総合的な学習の時間」に関しては教科書がなく、取り扱う内容は各学校で決める。学習指導要領にはふさわしい内容として「環境」が示されている。

※教科横断的な教育内容は学校教育全体で行うので、上記の教科以外でも扱ってよい。

2 船橋市立学校における環境教育

資料2

(1) 各校における環境教育の基本的な考え方

全校で共通する環境教育を行うのではなく、学習指導要領に則り、各学校長が教育課程に適切に環境教育を位置付け実施する。

(2) 各校における環境教育の実施状況

①各教科等

- ・教科書で取り扱われている環境に関する内容を指導する。
- ・教科書にはない内容を発展的な課題として指導している学校もある。

※発展的に学習している学校の例

国語	教科書の内容を発展させて「地球温暖化」について調べる
図工	プラスチックごみを使って「プラごみアート」を制作

②総合的な学習の時間

- ・取り扱う内容は学校長が各校の実態に合わせて決める。
- ・教育委員会では「環境に関する内容」を課題として設定することを推奨している。
- ・令和4年度は小学校全55校、中学校14校で「環境に関する内容」を探究課題として設定している。

※探究課題は身近な問題を取り上げることが多い。そのため、特に小学校では「環境問題」というテーマで学習を進めるのではなく、「船橋市の農業」などのテーマで学習を進め、そこから発展し環境に関する内容を取り扱う学習の展開が多い。

※市内で実施されている総合的な学習の時間の探究課題の例

「ごみ処理やリサイクルから地球温暖化について考える」 など

③校外学習

- ・全小学校がふなばし三番瀬環境学習館を訪れ、環境学習に取り組んでいる。
- ※全校が共通の環境学習施設を校外学習の行先に行っているのは近隣（葛南教育事務所管内及び千葉市）では本市のみ。
- ・令和4年度、ふなばし三番瀬環境学習館を除いた環境教育が行える施設（科学館等）を校外学習の行先にした学校は小学校29校、中学校8校。
- ※北部・南部清掃工場、リサイクルセンター、科学技術館、日本科学未来館など

④その他（特別活動、学校行事、生徒会（児童会）、PTA活動等）

- ・児童会、生徒会活動等で「緑の募金」や「節水や節電の呼び掛け」などの取り組み等をしている学校もある。

(3) 研究校（研究奨励校）

令和4年度から小学校1校（南本町小学校）、中学校1校（高根台中学校）を研究奨励校に指定し、実践研究に取り組んでいる。

※環境教育をテーマに市教委が研究指定しているのは近隣では本市のみ。

① 南本町小学校での実践

研究指定を受け、研究主題を「環境問題への理解を深め実感を伴った授業づくり～「今の自分にできること」を考える児童の育成を目指して～」とし、1・2年生は生活科を中心に、3年生以上は総合的な学習の時間を中心に授業実践・研究をしている。

<各学年の取り組み>

1年生	アサガオの栽培を通して、自然環境に親しむ
2年生	野菜くずから肥料を作り、作成した肥料を使って栽培活動を行う
3年生	地域の川や海を調べる活動から海洋プラスチックについて学ぶ
4年生	ごみ問題について考えることから自然環境を守ることについて学ぶ
5年生	理科（メダカの飼育）や社会科（日本の農業）の学習を発展させて生物多様性について学ぶ
6年生	SDGsと関連させ、地球温暖化について学ぶ

② 高根台中学校での実践

総合的な学習の時間で学習したことをもとに、こども未来会議室で「ごみの削減を目的としての給食のストローレス化及び牛乳パックのリサイクル」について提案した。高根台中学校をモデル事業校として事業が進められるか検討していく予定。

<各教科の取り組み>

国語科	SDGsについて調べ、自分たちにできることを考え、発表する
社会科	家庭での電力使用量について調査する
理 科	環境について調べ、レポートにまとめる

3 今後について 資料3

来年度に向けて、研究奨励校の実践を広めるなど環境学習の拡充を予定している。

<現段階での来年度の各校における環境学習の取り組み予定>

小学校	全ての学校において環境教育を総合的な学習の時間に位置付け、学習を進める予定。校外学習では、今年度同様にふなばし三番瀬環境学習館の他に、清掃工場やリサイクルセンターへの見学を多くの学校で予定している。
中学校	今年度、総合的な学習の時間で環境学習を行った学校に加え、7校が新規に総合的な学習の時間に環境教育を取り組む予定となっている。